

新型コロナウイルス関連の活動指針を見直しました

新型コロナウイルス感染症が国内で猛威をふるい出してから3年経過しました。ワクチンが普及し、治療薬もいくつか開発されていますが、ご承知の通り未だ終息が見通せない状況のため、もしばらくはWithコロナの活動を余儀なくされる私達です。当委員会は、新型コロナウイルスのパンデミックが発生して以来、会員の皆様が少しでも安全に活動することができるよう、次のような指針や留意点をお示ししてまいりました。

「例会再開に向けての指針」 (S協ニュース2020年7月号)

「例会再開に当たっての留意点の補足説明」 (S協ニュース2020年9月号)

「パーティー開催にあたっての指針」 (S協ニュース2021年5月号)

「例会再開に当たっての補足説明Ⅱ」 (S協ニュース2021年11月号)

「例会等でラウンドダンスを踊るための留意点」 (S協ニュース2022年5月号)

お蔭をもちまして、これまでは例会での感染事例もなく、一定の役割を果たすことができましたが、指針等の内容に実情にそぐわない部分が出てまいりました。そこで、当委員会は医療関係者のアドバイスをいただきながら、最新の情報に基づいた新たなガイドラインを作成し、会員の皆様のご理解ご協力をお願いすることになりました。

2022年11月19日 技術委員会

『With コロナでのスクエアダンス活動ガイドライン』

例会について

- 1 例会への参加に不安を持っている会員の気持ちを尊重し、参加の是非は会員の自主的な判断に委ねましょう。
- 2 発熱や風邪の症状があるなど、体調が思わしくない方は出席しないよう周知徹底してください。
- 3 必ず出席者の名簿（出席表）を作成し、体温チェック欄も設けましょう。
- 4 エアロゾル感染と飛沫感染を防ぐため、こまめな換気を確実に行なってください。窓や出入り口が少ない会場では、サーキュレーターなどを適切に活用して換気効率を高めてください。
- 5 例会中は必ずマスクを着用し、1チップ踊るたびに、手洗い・消毒を励行してください。
- 6 スナックは設置を控えるか、個包装の菓子程度にしましょう。飲料水は各自で持参しましょう。スナックコーナーでのお喋りは控えましょう。
- 7 休憩用の椅子は、椅子1脚分程度離して並べてください。
- 8 男性役の際は My タスキ着用をお奨めします。会でタスキを共有する場合は使用後消毒してください。

ダンスプログラムについて

- 1 1チップの時間は15分を超えないようにしてください。ラウンドダンスは1回で2曲以下が目安です。
- 2 チップ間のブレイクタイムを長めに取り、手指消毒や換気ができるよう配慮しましょう。
- 3 長めの時間を要するワークショップでは、15分ごとにブレイクして手指消毒と換気をしましょう。
- 4 利用施設での制約が無く、会員の合意があれば直接手を繋いで踊りましょう。

ウイルスは健康な皮膚には侵入できず、表面に付着するだけと言われていますので、手から感染することはありません。直接手を繋いで踊っても、1チップごとに手指消毒すれば感染リスクはほとんどありません。

手袋着用は安全と思われがちですが、チップごとの手洗い・消毒がおろそかになることが多いため、S協としては奨めていません。

- 5 コールやキューイングをするときはダンサーとのフィジカル・ディスタンス（2 m 以上）をしっかりと保ってください。利用施設や会員からマスク着用の要求があるときは従ってください。
- 6 ダンスフロアに入って指導するコーラーやインストラクターは、必ずマスクを着用してください。また声を張り上げないようワイヤレス・マイクを使用することを奨めます。
- 7 マスクは飛沫の飛散を抑制する効果が高い不織布マスクを強く奨めます。フェイス・シールドやマウス・シールドは、単体での使用はほとんど意味が無いと言われています。飛沫防止ができるかと勘違いするとかえって危険なため使用を控えてください。
- 8 基本的な感染防止策（マスク・手指消毒・換気）を正しく行えば、スクエアダンスのスウィングやラウンドダンスのクローズド・ポジションでも感染リスクはほとんどありません。

パーティー開催について

- 1 開催については、with コロナにおいてパーティーを開催する意義や目的をクラブ内で十分に話し合い、活動拠点やパーティー開催地の感染状況を見極めた上で慎重に判断してください。
- 2 密集状態にならない十分な広さで、天井が高く、強制換気設備を備えた会場を使用してください。
- 3 更衣室や食事会場は、密集状態にならない十分な広さで、強制換気が可能な部屋を用意してください。確保が難しければ、コスチュームを着用しない平服でのパーティーや昼食を必要としない半日のパーティーを検討いたします。
- 4 宿泊や懇親会を伴うパーティーを開催する場合は万全の感染予防策を講じてください。
- 5 密集状態でない適正な参加人数になるよう、参加申し込みは事前予約を原則とすることを奨めます。
- 6 開催案内や宣伝チラシ等に“感染予防策実施についての案内”を記載して、参加者に周知してください。ワクチン接種証明や陰性証明を参加条件とする場合は、クラブ内で十分に話し合い、合意をしてください。
- 7 感染防止に十分配慮したダンスプログラムとパーティー運営を実施してください。
- 8 パーティー参加者は終了後 1 週間、自分の体調に異変が無いセルフチェックしてください。

初心者講習会について

- 1 ビギナーと会員が安心して参加できるよう、講習会における感染防止策を丁寧に説明しましょう。
- 2 手から手への接触感染はほとんどないことを説明し、直接手を繋いで踊ることへの不安を和らげましょう。
- 3 万が一に備え、ビギナー名簿を作成して参加者全員の連絡先が把握できるようにしましょう。
- 4 S協が紹介しているビギナーレベルのラインダンスを積極的に取り入れてみてください。他の人と全く接触しないダンスなので、初めて参加されたビギナーも抵抗なく踊れると思います。
- 5 ワークショップが休憩を挟んで短時間になるため、講習の進み具合が遅くなります。ゆとりがある指導カリキュラムを作成してください。
 - ① スクエアダンスは、1 チップで指導するベーシックの数を抑えてください。
 - ② ラウンドダンスは、1 回に指導するフィギュアの数を抑えてください。
 - ③ ラインダンスは、短時間に指導できるカウント数の少ない曲を選んでください。

感染者が発生した場合

例会やパーティー、初心者講習会において参加者から感染者が発生した場合は、プライバシーの保護に留意し、S協が定める「[新型コロナウイルス感染に係る情報の取扱要項](#)」に従って適切な対応をしてください。（詳細はQRコードから）



【参考資料】 厚生労働省ホームページ [新型コロナウイルス感染症情報特設ページ](#) から抜粋

[新型コロナウイルス感染症について | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](#) →



屋内でのマスク着用

- ・ 他者と身体的距離がとれない場合（会話をほとんど行わない例：通勤電車）や、他者と距離がとれるものの会話をを行う場合は、マスクの着用を推奨します（※）。
- ・ 他者と身体的距離が確保できて会話をほとんど行わない場合（例：距離を確保して行う図書館での読書、芸術鑑賞）は、マスク着用は必要ありません。
- ・ 高齢者等との面会時や病院内など、重症化リスクの高い者と接する場合にはマスクの着用を推奨します。

※「他者と距離がとれるものの会話をを行う場合」については、十分な換気など感染防止対策を講じている場合はマスクを外すことも可能です。ただし、屋内は換気の状態や建物の構造などが一律ではないため、マスクを外す際には、それぞれの場面において、感染拡大防止のために講じられている対策や当該屋内施設の管理者の指示等も踏まえ、適切に判断していただくようお願いします。

濃厚接触者

濃厚接触者は、新型コロナウイルスに感染していることが確認された方と近距離で接触、或いは長時間接触し、感染の可能性が相対的に高くなっている方を指します。

濃厚接触かどうかを判断する上で重要な要素は上述のとおり、1. 距離の近さと2. 時間の長さです。必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1 m程度以内）で15分以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられます。

なお、15分間、感染者と至近距離にいたとしても、マスクの有無、会話や歌唱など発声を伴う行動や対面での接触の有無など、「3密」の状況などにより、感染の可能性は大きく異なります。

体調に異変を感じたら

- ① 症状や常備薬をセルフチェック
- ② 国が承認した検査キット（対外診断用医薬品又は第一類医薬品と表示）をもちいてセルフチェック
⇒ 陽性だった場合：症状が軽い場合は自治体の健康フォローアップセンターへ連絡して、自宅療養を開始。

65歳以上の方や基礎疾患がある方は発熱外来を受診。